

一般質問



門馬まりえ 議員

①この1カ月間の路線ごとの利用者数は何人ですか。
②今年度は3カ年計画の「広野町高齢者福祉計画」及び「第6期介護保険事業計画」の最終年度になりますが、計画に記載されている町内での※デマンドタクシーの導入や、支援組織の立ち上げなどの、新たなサービス提供の仕組みの検討をしていますか。

門馬

5月より時刻表も改定され、現在3路線で町民バスが運行されていますが、

町長

①上北迫・上浅見川地区コースは162人、下北迫・広洋台地区コースは72人、折木・夕筋地区コースは185人の利用がありました。

②通常の行動が著しく困難な方の帰町後の病院・公共施設等への移動手段として、「外出支援サービス事業」を、本年4月から、いわき市から楢葉町、富岡町まで拡大し内容を充実させ実施しています。また、NPO法人や老人クラブ、婦人会等の各種団体や行政区の活動を支援し、町民同士の交流促進を図っています。町民バスや、外出支援サービスの利用状況を検証し、総合的に検討していきます。

高齢者の移動・交通手段の新たなサービス提供は 遠藤町長／利用状況を検討しその充実を図る

※デマンドタクシー
町内を運行する乗り合い型のタクシーで、利用したい時間や乗車場所などの要望（デマンド）に応えるサービス。

認知症対策の新たな取り組みは

遠藤町長／認知症サポーター養成講座を開催



認知症サポーター養成講座（中学校）

門馬

認知症施策推進5カ年計画（オレンジプラン）では、新しい取り組みが実施されることとなっています。

特に、地域で安心して暮らし続けるために、適時適切なサービスを提供するように心がけていますが、認知症カフェ等の設置について検討されていますか。

町長

平成28年度から認知症地域支援推進員による、認知症の方やその家族を支援する相談業務等を行っています。

また、広野小・中学校において、認知症サポーター養成講座を開催し、サポーターの育成をしています。認知症カフェ等の設置については、今後、本町の実情に応じて検討していきます。

一般質問



北郷伯弘 議員

再度その職務につき、行政執行にあたるのか

遠藤町長／しかるべき時期に意思表示をしたい

北郷

町長の就任以来、早いもので4年の任期が目前に迫っています。常に町民の先頭に立ち、若さと、その行動力を持って、この町の進展と、町民主体の行政を推進してきたことは、多くの町民が認めています。

東日本大震災、原子力事故から6年3カ月が経過する中で、町民の8割が帰還したとはいえ本町の復興は道半ばです。この町の進展に全力を持って一身傾注するその職責は激務であるが、今日までの町制の方針を継続するため、再度立候補の意思があるか、町民に真摯に伝える時期となりますが決意の程は如何ですか。

町長

自然豊かな美しい広野町を一日も早く復興・再生し、いかなる困難に対しても、必ずや復興・再生を成し遂げるという熱い決意のもと、町職員と共に、将来にわたり、町民の皆様と共に広野町の誇りとなる事業を展開してきたところであります。

町の復興・再生は着実に進展し、復興・再生への道のりは未だ道半ばであり、町民の皆様の声に真摯に耳を傾け、町民と共に歩む町民主体の行政を進めてまいります。



また、町民の皆様がふるさと広野町で震災以前の生活を取り戻すため、全身全霊で取り組んでいるところ、与えられた任期の中で、現在、復興を止めることなく確実に歩みを進めてまいります。質問を重く受け止めて、町民の皆様の御意見を伺い、熟慮・決断し、町民の皆様へしかるべき時期に、意思表示をいたしたいと考えております。